

決 裁	市 長	副市長	教育長	部 長	課 長	プラネタリウム	郷土資料館

会 議 (打 合 せ) 報 告 書

会 議 名	平成29年度第2回白井市郷土資料館運営協議会会議						
場 所	白井市文化センター 研修室				日 時	平成30年2月23日(金) 15:30~16:40	
報 告 者	郷土・プラネタリウム班	職・氏名	主 査 矢ヶ部 純子				
出 席 者	(委 員) 古里委員・倉田委員(会長)・飯島委員・横山委員(副会長)・小林委員・平野委員・阿部委員・杉原委員(8名)						
	(事務局) 井上教育長・山本館長・酒井・矢ヶ部					傍聴者	1名

1. 開 会

2. あいさつ

○井上教育長

- ・白井市郷土資料館運営協議会出席に対するお礼。
- ・庁舎整備工事が予定通り3月末で完成し、5月にグランドオープンをする運びとなっていることの報告。(挨拶終了後、退席)

3. 議 題 (議長：倉田会長)

(1) 平成29年度事業実施状況について

●審議結果・・・大きな指摘事項等はなかった。

- 主な質疑内容
- ・環境測定について
 - ・小学校の郷土資料館見学について
 - ・刊行図書について

(2) 平成30年度事業計画について

●審議結果・・・大きな指摘事項なく承認された。

(市民学芸スタッフ古文書修補活動事業の作業場所については、29年度は市役所庁舎整備工事の関係で文化センター3階郷土資料館展示ギャラリースペースで実施していたが、工事終了により従来の2階の研修室へ戻る予定で5月に移動を考えている)

- 主な質疑内容
- ・研修等への参加について
 - ・千葉県博物館協会及び博物館の種類等について
 - ・教育・普及事業の講師について
 - ・平成30年度以降の事業について

(郷土資料や文化財等を活用しての白井市のアピール)

(3) その他

●事務局より

- ・3階郷土資料館前展示ギャラリーについて

郷土資料館手前の通称展示ギャラリーは、市において【市民ギャラリー】が整備されるまでの間、一定の基準を設けて暫定的に貸出を行っていたが、5月オープンの市役所東庁舎1階に『しろい市民まちづくりサポートセンター』が開設され、その中に市民ギ

ャラリーの機能を有する多目的スペースが整備されるため、貸出利用を終了することとなった。今後当該スペースは、市が所蔵している郷土の歴史や文化等の資料の展示充実を図るとともに、郷土の学習・啓発の場として活用していきたい。

【意見及び質疑なし】

4. 閉 会

★会議終了後 ～ 17時(閉館時間)

時間のある委員により【郷土資料館展示室】の見学及び意見・情報交換を実施。

～ 【議題について質疑応答など】 ～

倉田会長：本日の議題である平成29年度事業実施状況と平成30年度事業計画について審議していきたいと思います。まず(1)の平成29年度事業実施状況について事務局より説明をお願いします。

【議題1 平成29年度事業実施状況について】・・・事務局より 資料に沿って説明

倉田会長：平成29年度事業実績報告につきましてご意見等をお願いします。

古里委員：資料保存管理等のところで環境測定は具体的にどのようなことをしていますか。

事務局：環境測定は主に郷土資料館のあるフロアで、展示室・収蔵庫・プラネタリウム館・事務室を中心に虫の生息や空調・粉じん等の基本的な調査をおこなっています。

倉田会長：温湿度の計測は行っていますか。

事務局：行っています。

倉田会長：展示ケースの中も行っていますか。ケースの中の温湿度はこの季節だとどのくらいですか。

事務局：当館の空調関係は、展示室だけ別ではなく、文化センター共通になっているので、切れてしまうと一緒に下がってしまう。今日の展示室は、湿度は50%前後だったので、多分そのくらいだと思います。

倉田会長：展示ケースの設備として湿度ボード等を裏に貼ったりしているのですか。

事務局：貼っていません。

倉田会長：いかがでしょうか、他にありますか。

平野委員：団体見学の受け入れについて、この中で市内の小学校等がどれくらいの実績があったのか、参考までをお願いします。

事務局：「自由見学」と「説明する見学」と2種類あります。学芸員の解説付きの見学をしているのは、白井第二小学校になります。他の小学校は自由見学がほとんどです。南山小学校は当館から郷土関係の道具を借りて学校で体験をしています。

平野委員：ありがとうございました。

横山委員：学校の見学については、白井市については説明がありましたが、私の知る範囲で他の市町村では、小学校の1年から6年生の間に必ず資料館(博物館)を見学するという連携をとっているところが多いです。教科書に沿ったことを勉強していくわけですが、学校の協力を得て、6年間のうちに1度は白井の歴史や生活を見ていただきたいです。

倉田会長：たしかに毎年各学年で年1回見学というのは難しいと思います。小学校6年間で1度は資料館を見学するようにしたらどうかという横山委員のご意見に、私も賛成です。

横山委員：せっかく郷土資料館があるのだから活用して欲しいと思います。民具もいくつか同じものがあるならば貸出したり、出前教室をするなど、もっと学校と関わっていったほうが良いと思います。これから育っていく子供たちにもっと白井の昔のことを知ってもらう、長く住めば住むほど愛着がわくと思います。鎌ヶ谷市、印西市、船橋市の資料館は1階です。しかし、ここは3階に郷土資料館があります。「図書館には行きますが、上に行ったことはない」「3階に上がってきてもプラネタリウム館に入るが郷土資料館には行かない」または「プラネタリウム館の空き時間にちょっと覗いてみる」その程度の人が多いと思われます。ですからもっと住民との接点を多くして、行列ができるほどではなくてももう少し賑わいがあつた方がよいと思います。

倉田会長：非常に貴重なご意見だと思います。郷土資料館が3階で分かりにくいというご意見でしたが1階に【資料館は3階】という看板はありますか。

事務局：入口に看板を立ててあります。

倉田会長：学校に民具を貸し出しているということですが、学校で展示しているということですか。

事務局：いいえ体験用です。背負いかごなど体験できるものを貸出しています。

倉田会長：その場合は館の学芸員が学校に行っているのですか。

事務局：いいえ。学校の先生に注意事項を伝達して預けて、学校側で先生が授業の一環として子供たちに体験させています。

倉田会長：学校教育との連携ということで貴重なご意見をいただきました。その他いかがでしょうか。

小林委員：資料保存・管理等の図書の販売について、「白井のあゆみ」と「白井の地名」について不満があります。「白井のあゆみ」では、富士講について書いてない点です。「白井の地名」では、ニュータウンの方向けに作ったようですが。例えば七次、木にトサキがありますが、トノサキと書いてある。門の先と書いて、トサキはヒザキですから湖、水の関係があると思うのに全然触れていません。鈴木普二男先生の本の中にもちゃんとトサキは水の関係だと書いてあります。「白井の地名」について学芸員の皆さんでもう一度再検討していただきたいと思います。白井のニュータウンの人がこの本が正しいと思ってしまうのはよくないと思います。本を出すときには何人かを見て、一番キャップの人が責任もってやってもらいたいです。解説について苦情等はきていますか。

事務局：今のところ苦情はありません。

小林委員：そうですか。「白井のあゆみ」と「白井の地名」ができてからもう12～13年たっています。そろそろ見直しをしてもいいのではないのでしょうか。

事務局：大変参考になりました。再版などが生じたときには、検討していきたいと思います。ご意見どうもありがとうございます。

倉田会長：両書籍の残部は、どれくらいあるのですか。

事務局：「白井の地名」はだいぶ減って「白井のあゆみ」は残部がかなりあります。

倉田会長：完売まで時間がかかるなら、明らかな間違いについては、正誤表を作った方がよいのではないのでしょうか。29年度事業実績についてのご意見等は終わりです。よろしいですか。よろしければ、議題2の平成30年度事業計画について事務局からご説明をお願いします。

【議題2 平成30年度事業計画について】・・・事務局より(資料に沿って説明)

○市民学芸スタッフ古文書修補活動事業の作業場所について

前回会議で説明しましたが現在市役所新庁舎整備工事の関係で、今年度は文化センター3階で行っていたが来年度は従来の文化センター2階研修室を再び作業室として使用できるようになります。5月には市役所事務所機能の移転が完了することから、期日は確定しておりませんが元の場所に移動する予定です。

倉田会長：平成30年度の事業計画についてご意見がありましたらお願いします。

横山委員：研修等への参加というところで千葉県博物館協会主催の研修会等への参加ということですが、千葉県博物館協会に白井の資料館は参加しているのでしょうか。

倉田会長：千葉県博物館協会というのは千葉県内の博物館が作っている組織です。総会には各館長と事務、学芸員が主に参加し、研修会は学芸員が中心に参加しています。この協会の中ではいろいろな役割分担があり、会報や研究紀要を出したりしています。そうした作業を通じて博物館の交流や、情報交換の場になっています。

事務局：研修への参加についてですが、千葉県博物館協会の総会と研修に参加しています。今年度については千葉県で行っている博物館、図書館、公民館の連携事業関係の研修に2回参加しています。その他1月には博物館協会主催のまちづくりの観点から「博物館と地域づくり」という研究報告会にも参加しております。

あと千葉県博物館協会では当館は印旛ブロックの資料救済関係のサブ館を勤めています。その会議が1月に当施設を会場として開催され、各館の今の状況の報告、情報交換を行うとともに、当館の展示室や収蔵庫及びプラネタリウム館などの施設の見学を行いました。

横山委員：博物館協会のチラシを見ると、この近隣では鎌ヶ谷市、船橋市の郷土資料館、それから市川市や野田市は博物館という名前ですが、「郷土資料館」と「博物館」ではどういう違いがあるのですか。

倉田会長：簡単にいいますと「資料館」は、かつて、主に文化財の収蔵・保管に重きをおいた施設、「博物館」は資料収集・保存、調査研究、展示、教育普及といった一連の活動を行う施設といえますが、現在は「資料館」という名称を用いている館も、「博物館」と同じ機能を持ち、活動しているといえます。

古里委員：博物館法上では「博物館」と「相当施設」とかあります。こちらの館はどうですか。

事務局：当館は「類似施設」となっております。これについては、千葉県の登録の「博物館」と「博物館相当施設」に該当する規模でないということ。白井市は人的な部分も含めて博物館法の規定に伴う部分では、そこまで至っていないので「類似施設」となっています。「博物館相当施設」の条件も満たしていないのが現状です。

横山委員：先日、千葉県の文化財管理者講習会に参加したときに、「類似施設」と「相当施設」との違いについて質問している人がいました。県の課長は、特に登録している、していないで差別はしていないと言っていました。白井市は千葉県博物館協会に入っていないのですか。

事務局：入っています。

横山委員：それならいいです。

杉原委員：私は今年からこの委員になりました。32歳から38年間『千葉県文化財保護指導委員』をやっております。それで今回委員になるに際して千葉県の文化財課に連絡をして資料を送ってもらいました。白井市の【文化財の詳しい資料】【文化財分布地図】、千葉県内の博物館の今の文化財行政の文化施設の一覧です。文化施設一覧ということで大きく2つに分かれます。1つ目が「登録博物館」「博物館相当施設」です。我々がよく知っている県立博物館、流山市立博物館、松戸市立博物館などがあります。2つ目が、「博物館類似施設」・「参考施設」で、その中に鎌ヶ谷市郷土資料館、白井市プラネタリウム館、そして白井市郷土資料館が入っております。

倉田会長：白井市郷土資料館も千葉県博物館協会に加盟しているので、他の館と様々なネットワークがあるということがよくわかりました。

横山委員：はい。ありがとうございます。

古里委員：教育普及事業で、講座の講師、外部講師の名前を入れた方がいいのではないのでしょうか。

事務局：29年度事業でしょうか。わかりました。外部講師の場合は名前を記載しておりますが、先ほど口頭で報告したとおり「大福帳づくり」「和本づくり」は個人ではなく市民学芸スタッフの方々に講師協力をお願いしたので記入しませんでした。次回からは資料に「市民学芸スタッフ」と入れていきます。

古里委員：古文書講座はどのようなのでしょうか。

事務局：古文書講座については、29年度事業報告でお伝えしたとおり、白井市郷土資料館の非常勤職員が講師を行っているので名前を入れていません。記載の古文書講座は初心者向け、初級向け、郷土史講座があり、郷土史講座の『プラネタリウム館合同事業』では白井市文化センター郷土・プラネタリウム班の職員で「星空解説」はプラネタリウム担当が行い、「月待・日待の解説」は郷土資料館担当が講師という形で実施しました。

倉田会長：古文書関係担当の非常勤職員は、古文書講座や郷土史講座関係以外に所蔵している古文書を整理したりしているのでしょうか。

事務局：白井の古文書関係の業務です。修補関係の古文書も担当し市内の古文書関係全般を行っています。

倉田会長：その他いかがでしょうか。

杉原委員：平成30年度4月以降の件ですが、今回初めて委員になり、郷土資料館に4枚のプリントをお渡ししてあります。その中でぜひ平成30年度4月以降に実施して欲しいと考えていることがあります。私は38年間、千葉県の文化財保護指導委員をしており、松戸市と鎌ヶ谷市と白井市が担当で城跡に関する遺跡も巡視しています。白井は「小森城」です。かつて白井市、松戸市、鎌ヶ谷市の文化財に関する資料をいただきました。これはずいぶん古いものですが、白井の「文化財のしおり」で手書きの資料。30数年前のものです。それから1979年発行の約40年前の「千葉県印旛郡白井町埋蔵文化財分布地図」（白井町教育委員会）の資料を大事に持っています。白井市内には城跡が5つありますが、そういうことを知っている白井市民はほとんどいないと思います。『住みよさランキング』というものをご存じでしょうか。東洋経済新報社が全国の都市を安心度、利便度、快適度、富裕度、住居水準充実度の5つの観点から日本全国の市を住みよさでランク付けしていま

す。印西市は現在1位で、白井市は今は違いますが以前全国5位になったことがあります(2年連続で)。昔も今も住みやすいまち白井ということでは是非アピールしたい。そのためには身近なところで白井市内に城が5つもあったということは、子供たちに説得力があると思います。例えば小森城跡を整備して歴史公園にするとか、これはお金がからむので直ぐにはできないと思いますが、「現地見学会」などフィールドワークを手始めに白井市民にもうちょっとアピールしてもいいのではないのでしょうか。

倉田会長：今のご意見は、郷土資料館だけではなく、文化課の文化財の担当、部署等と共同で行っていくことで、広く広報ができるのではと思います。ご努力いただければと思います。

平成30年度の事業計画についてはよろしいでしょうか。

全委員 【異議なし】 ～ 承認 ～

事務局：ありがとうございました。平成30年度事業計画について、承認されたということで(案)を消してください。

【その他】として「古文書修補作業室の移動」に関しては30年度事業計画で説明したとおり5月を予定にしています。

「3階郷土資料館前展示ギャラリー」についてですが、郷土資料館手前の通称【展示ギャラリー】は、白井市として【市民ギャラリー】が整備されるまでの間、一定の基準を設けて暫定的に貸出を行っていました。先ほど教育長あいさつにもありましたが、このたび5月に白井市役所東庁舎がオープンします。その1階に『しろい市民まちづくりサポートセンター』が開設され、その中に【市民ギャラリー】の機能を有する多目的スペースが整備されるため、当館【展示ギャラリー】の貸出利用を終了することとなりました。当該スペースについては委員の皆様からご意見を頂戴しながら、市が所蔵している郷土の歴史や文化等の資料の展示を充実していくとともに、郷土学習の啓発の場として活用していきたいのでよろしくお願いいたします。

全委員 【意見及び質疑なし】

事務局：今年度の会議は2回ということで今回が最後になります。次回は平成30年度第1回の会議で例年同様6月を目途に実施予定としております。皆様のご協力をお願いしたいと思います。以上で事務局からは終わりとなります。

閉 会

★会議終了後★ ～17時(閉館時間)

自由の形式で『白井市郷土資料館(展示室)』の見学を行いながらそれぞれ委員同士や資料館担当職員などお互いの意見や情報の交換を行った。